

(13) 植物（ベルトトランセクト）

1) 調査目的

荒瀬ダム撤去により、環境が変化すると予測されるダム上流域の植物の定量的な変化を把握することを目的とする。

2) 調査時期・頻度

調査は、出水期後に水位が低下し河岸が大きく露出する秋季（平成 25 年 11 月 28 日～11 月 29 日）に実施した。

4) 調査地点

調査地点は、次の 5 ラインを設定した。No.1 百済木川：球磨川との合流点より上流約 400m 付近
No.2 球磨川：20k350 付近、No.3 球磨川：23k000 付近、No.4 球磨川：25k100 付近、No.5 球磨川：27k400 付近
各ラインは、水際の植生の発達や石灰岩の露出による重要種の回復が見込める等、荒瀬ダム撤去によるプラスの効果が見込める点を考慮し設定した。

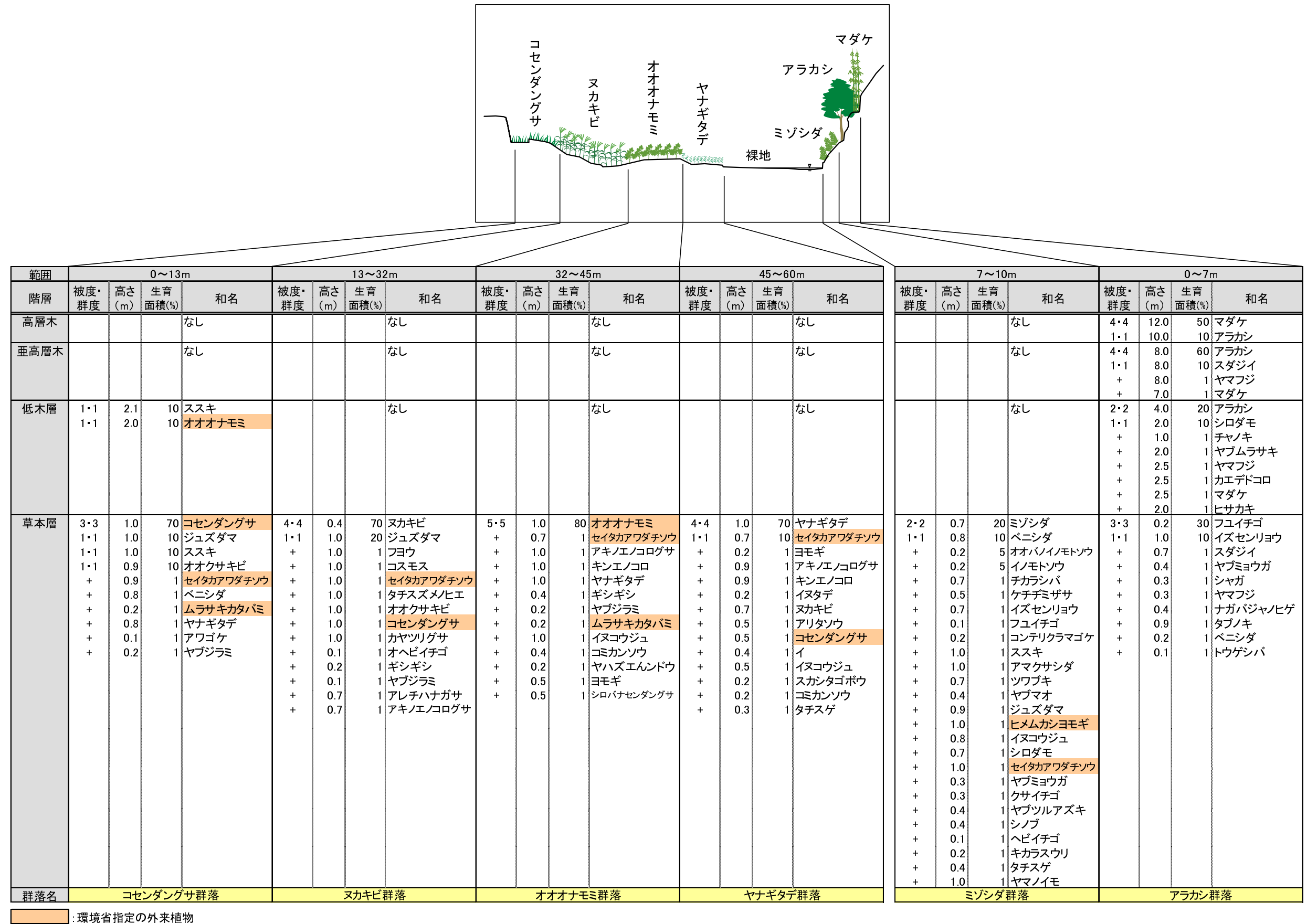
3) 調査方法

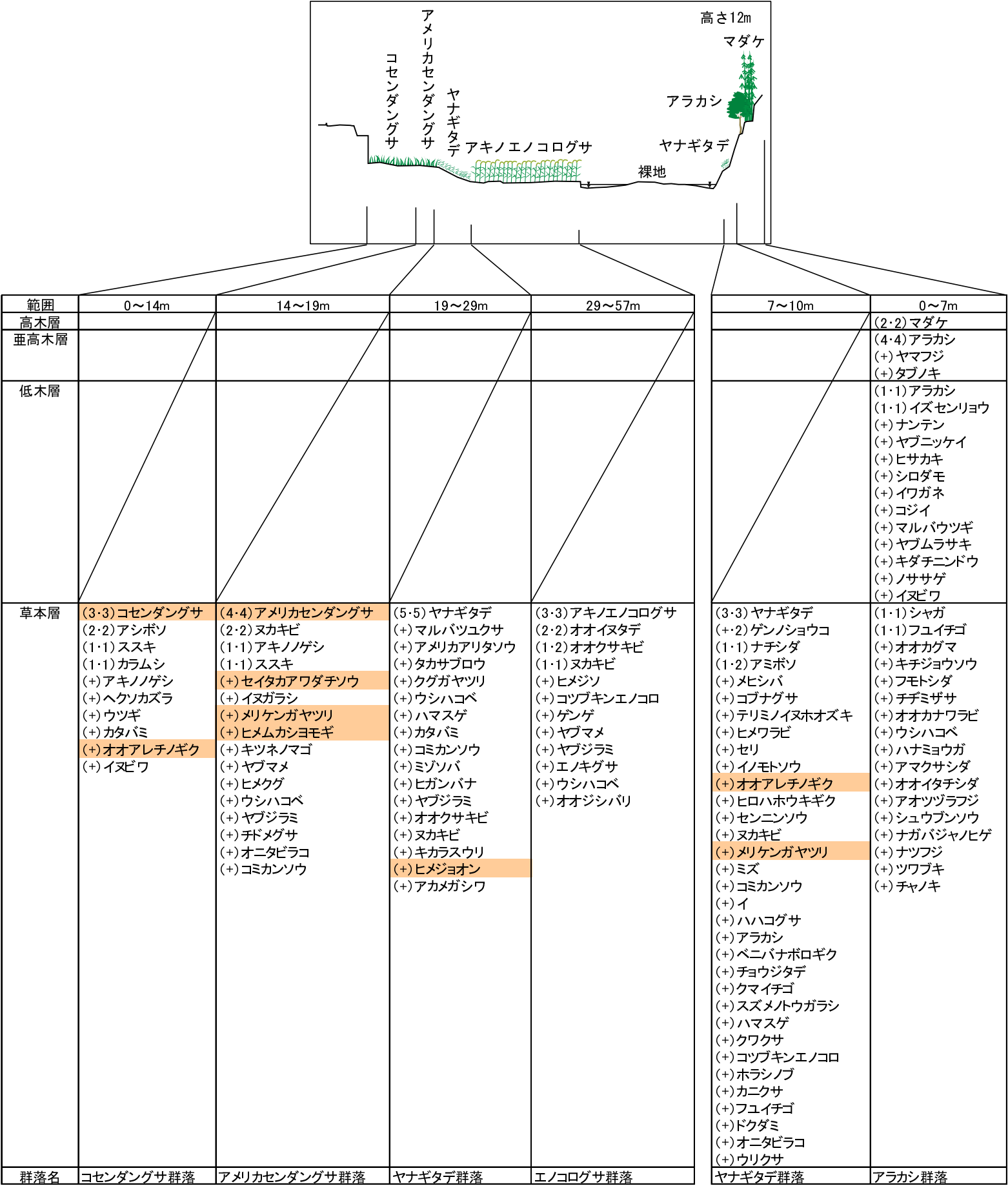
- ・ラインに沿って約 5m 幅を設定し、その中の群落別の分布範囲を記録した。
- ・コドラートは、草本類では 2m×2m、木本類では 5m×5m 程度に設定し、ブラウンプランケ法によりコドラート内の群度や被度を記録した。階層別に、およその平均的な高さ、植被率も記録した。GPS でコドラートの位置座標も記録した。
- ・被度に加え、目分量で、種別のおおよその生育面積を百分率で記録した。精度は、被度 2 以上では 10% 刻み、被度 1 では 5% 刻み程度とした。なお、高さが異なる植物群落がオーバーラップしている場合には、種別の生育面積の合計が階層別の合計面積を超えた。
- ・種別に、最も丈の長い個体の高さも記録した。草本類の双子葉植物については、「植物体を直立させ、最も新しい葉の付け根～地上までの茎の長さ」を計測した。また、単子葉植物については、「自然状態で、葉の先(注：出穂している時は穂の先端)～地上までの高さ」を計測した。木本類の高さについては、植物体の最も高い位置～地上までの高さを目分量で計測した。



※この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図(坂本、中津道)を背景図として使用したものである。

5) 調査結果
【平成 25 年度】



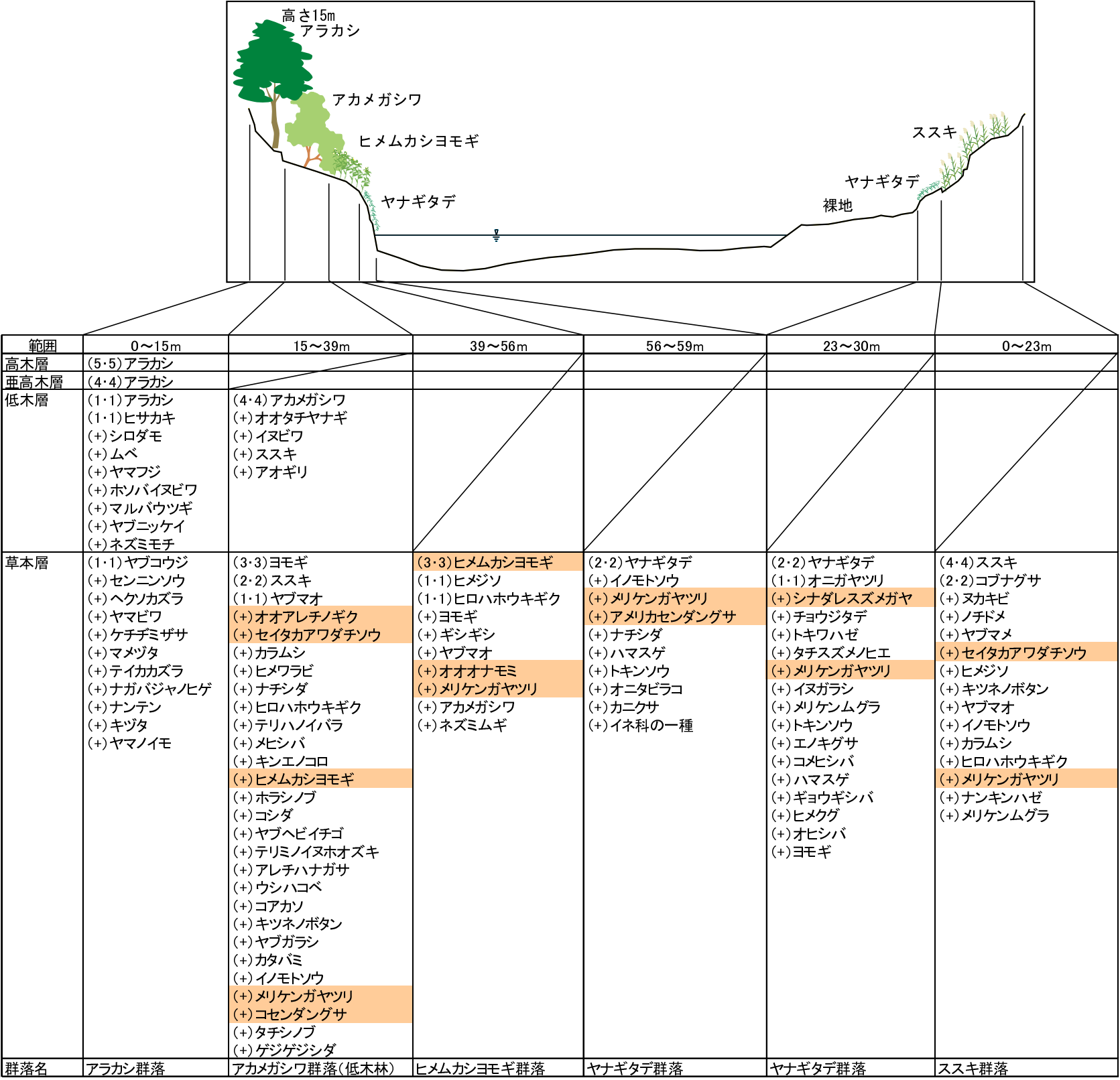


No.1 : 百済木川 0k400 付近

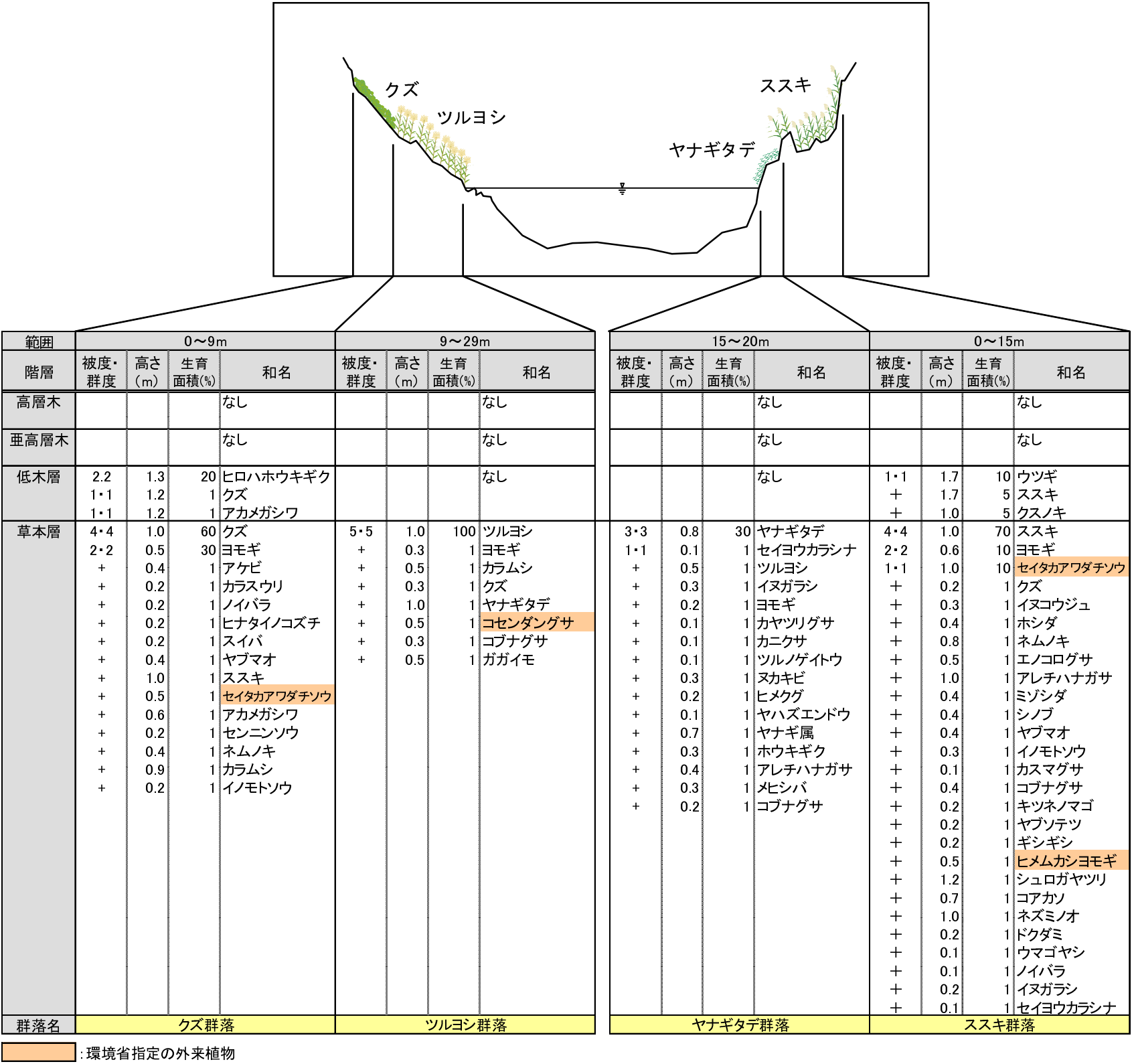
範囲	0～13m(斜め)				3～23m(斜め)				23～33m(斜め)				17～22m				13～17m				0～13m			
階層	被度・ 群度	高さ (m)	生育 面積(%)	和名	被度・ 群度	高さ (m)	生育 面積(%)	和名	被度・ 群度	高さ (m)	生育 面積(%)	和名	被度・ 群度	高さ (m)	生育 面積(%)	和名	被度・ 群度	高さ (m)	生育 面積(%)	和名	被度・ 群度	高さ (m)	生育 面積(%)	和名
高層木	3・3	15.0	50	アラカン				なし				なし				なし				なし				なし
	2・2	15.0	25	クリ																				
	1・1	13.0	10	エノキ																				
亜高層木	2・2	7.0	25	イヌビワ				なし				なし				なし				なし				なし
	1・1	5.0	10	エノキ																				
	1・1	4.0	10	アラカン																				
	1・1	4.5	10	クリ																				
	+	6.0	5	カエデ・コロ																				
	+	5.5	1	ハゼノキ																				
	+	5.0	1	シロダモ																				
低木層	3・3	1.5	30	アラカン	4・4	4.0	70	アカメガシワ	2・2	25.0	2.1	ススキ				なし				なし				なし
	1・1	1.5	10	ナンテン	1・1	2.2	5	セイタカアワダチソウ																
	+	10.0	1	ビワ	1・1	2.0	5	ヤブマオ																
	+	1.0	1	マサキ	+	3.0	1	ヌルデ																
	+	3.0	1	マメヅタ	+	2.5	1	オオタチヤナギ																
					+	2.0	1	ススキ																
草本層					+	1.5	1	ウツギ																
					+	2.0	1	クスノキ																
	4・4	0.2	60	ヤブコウジ	3・3	0.2	30	フユイチゴ	2・2	1.0	25	ススキ	4・4	1.7	50	シナダレスズメガヤ	5・5	1.7	90	セイタカアワダチソウ	4・4	2.1	70	ススキ
	1・1	0.4	10	テイカカズラ	1・1	0.6	10	タチシノブ	2・2	1.0	15	シナダレスズメガヤ	1・1	0.2	10	ヨモギ	1・1	0.4	10	ヤブマオ	1・1	2.0	10	セイタカアワダチソウ
	+	0.4	1	チャノキ	1・1	1.0	10	イヌワラビ	1・1	0.7	10	イヌコウジュ	1・1	0.8	10	アレチハナガサ	1・1	0.6	10	ヤナギタデ	+	0.6	5	カラムシ
	+	1.0	1	マメヅタ	+	0.2	1	イノモトソウ	1・1	0.4	10	ヨモギ	1・1	0.5	10	イヌコウジュ	1・1	0.1	10	ヤブジラミ	+	1.9	5	アレチハナガサ
	+	0.2	1	ナガバジャノヒゲ	+	1.0	1	ムベ	+	1.0	1	メリケンカルカヤ	+	0.6	1	ホウキギク	+	0.1	1	ウシハコベ	+	0.5	1	ホシダ
	+	0.4	1	ヤブミヨウガ	+	0.3	1	アカメガシワ	+	0.4	1	イヌビワ	+	0.2	1	カニクサ	+	0.3	1	イノモトソウ	+	0.3	1	ヨモギ
	+	0.3	1	ビワ	+	0.2	1	ナンテン	+	0.2	1	オヘビイチゴ	+	0.4	1	キンエノコロ	+	0.5	1	ジュズダマ	+	0.5	1	イヌワラビ
	+	0.2	1	カエデ・コロ	+	0.2	1	ケチヂミザサ	+	0.1	1	ヤハズエンドウ	+	0.3	1	イヌワラビ	+	0.5	1	ホシダ	+	0.5	1	カニクサ
	+	0.2	1	ケチヂミザサ	+	1.0	1	ウツギ	+	0.2	1	ギシギシ	+	0.4	1	エノキ	+	0.1	1	キツネノマゴ	+	0.7	1	シナダレスズメガヤ
	+	0.3	1	ナンテン	+	0.7	1	カニクサ	+	1.0	1	ウツギ	+	0.4	1		+	0.1	1	ドクダミ	+	0.1	1	キツネノマゴ
	+	0.3	1	ホシダ	+	1.0	1	ヤマノイモ	+	0.4	1	コブナグサ	+	0.4	1		+	0.1	1	チドメグサ	+	0.3	1	イノモトソウ
	+	0.2	1	ヤマフジ	+	0.2	1	アケビ	+	0.5	1	スギ	+	0.4	1		+	0.1	1	ヤエムグラ				
	+	0.3	1	ナキリスゲ	+	0.2	1	ヨモギ	+	1.0	1	セイタカアワダチソウ												
	+	0.3	1	ツルウメ・モドキ	+	0.3	1	ヤブミヨウガ	+	0.2	1	ヤブツルアズキ												
	+	0.3	1	ヤブラン	+	1.0	1	ヤブツルアズキ	+	0.2	1	イノモトソウ												
					+	0.6	1	コアカソ	+	0.3	1	ホウキギク												
					+	0.4	1	ツタ	+	0.3	1	カニクサ												
					+	0.4	1	クサイチゴ	+	0.2	1	ホシダ												
					+	0.7	1	セイタカアワダチソウ	+	0.4	1	エノキ												
					+	0.2	1	ギシギシ	+	0.4	1	アカメガシワ												
					+	1.0	1	ススキ																
					+	0.1	1	アワゴケ																
群落名	アラカン群落				アカメガシワ群落				ススキ群落				シナダレスズメガヤ群落				セイタカアワダチソウ群落				ススキ群落			

:環境省指定の外来植物

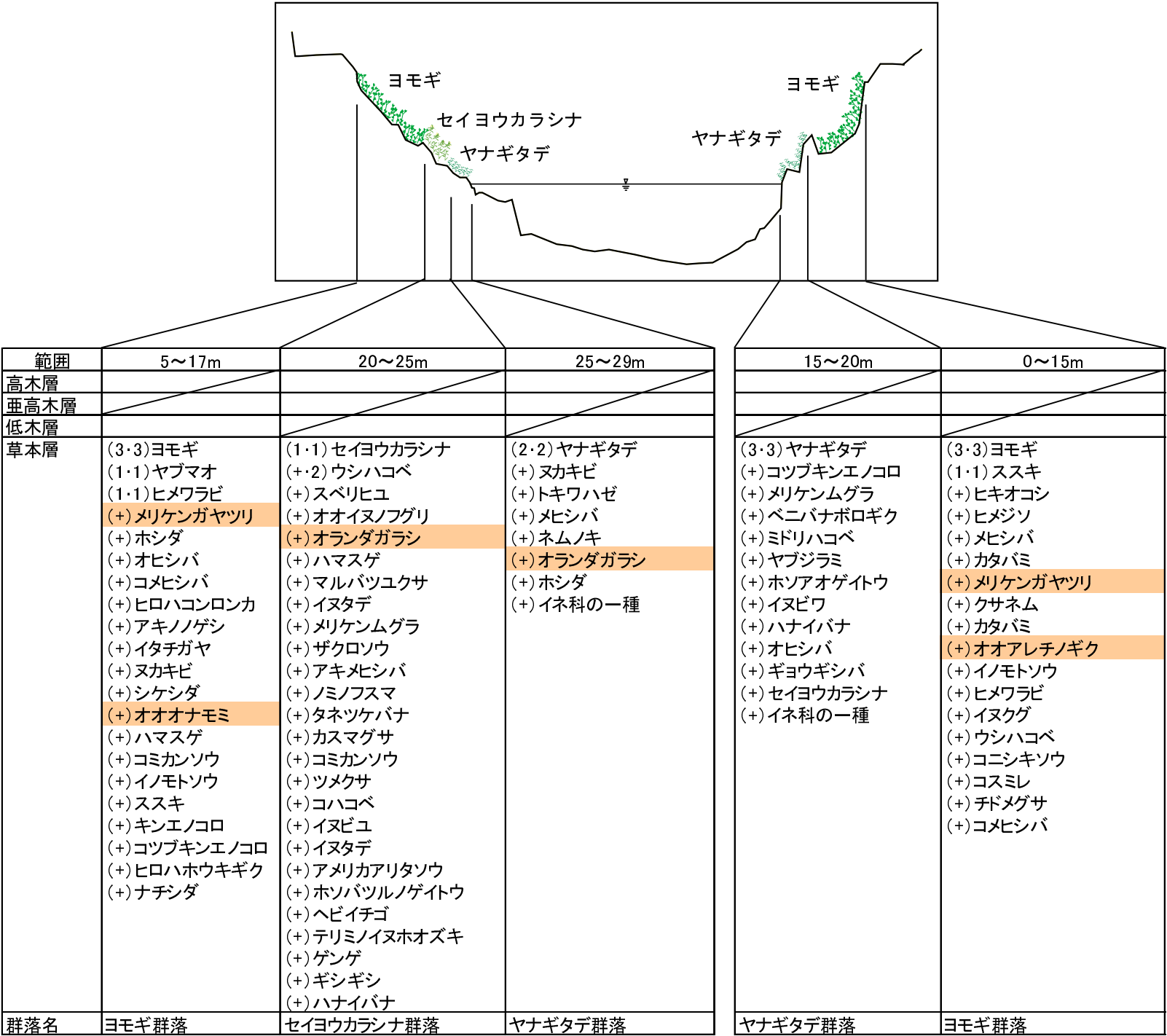
No.2 : 球磨川 20k350 付近



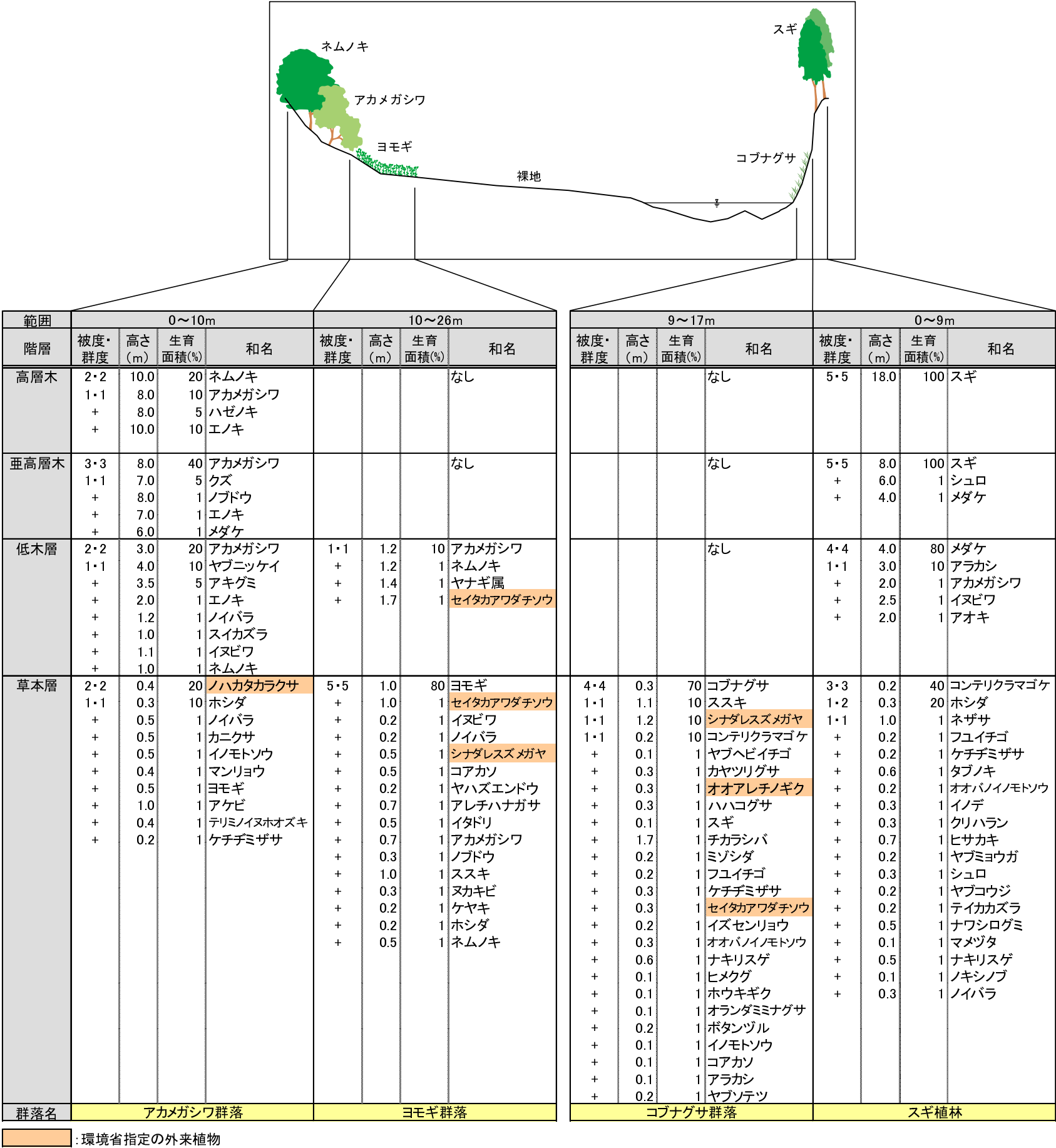
No.2 : 球磨川 20k350 付近



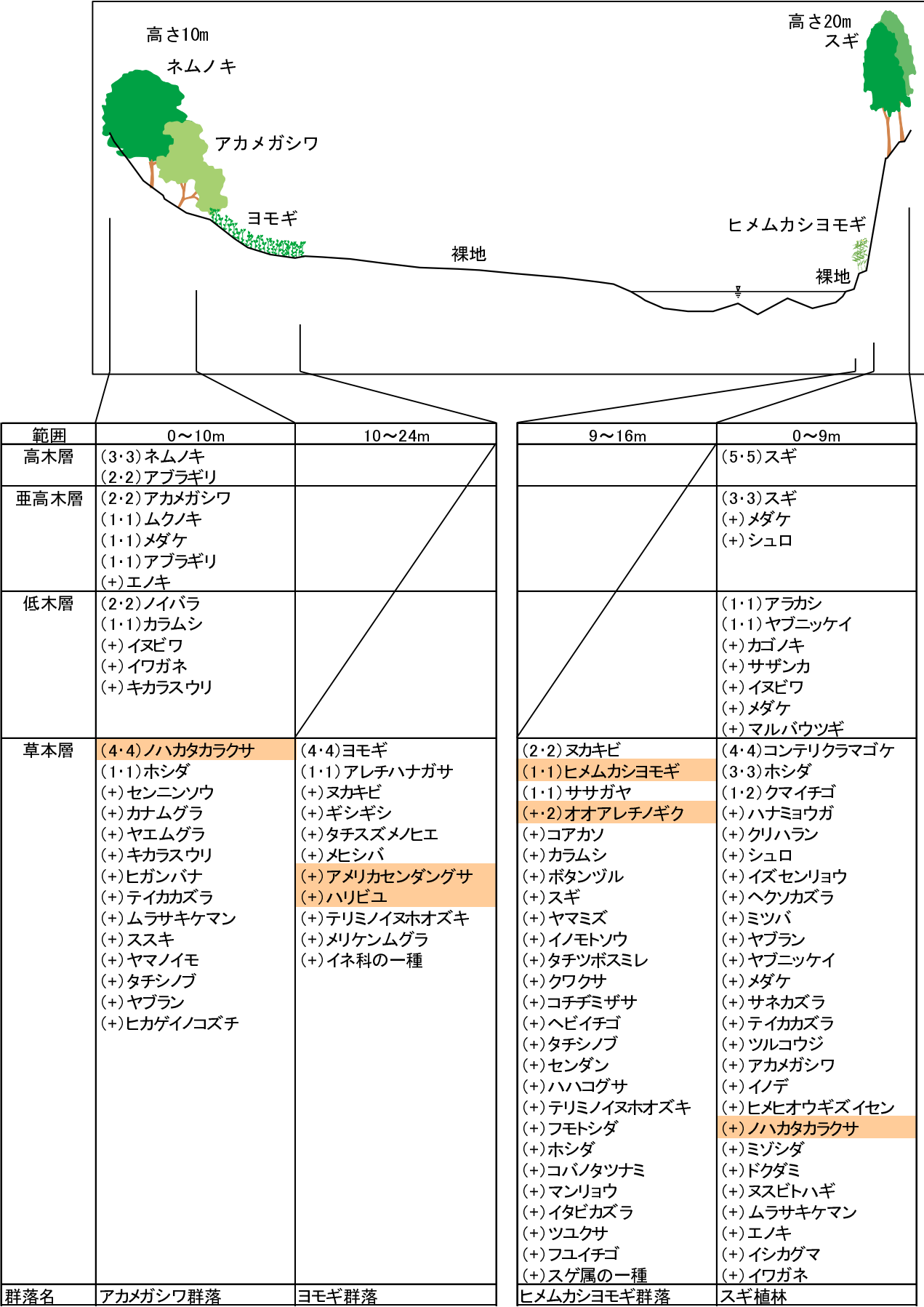
No.3：球磨川 23k000 付近



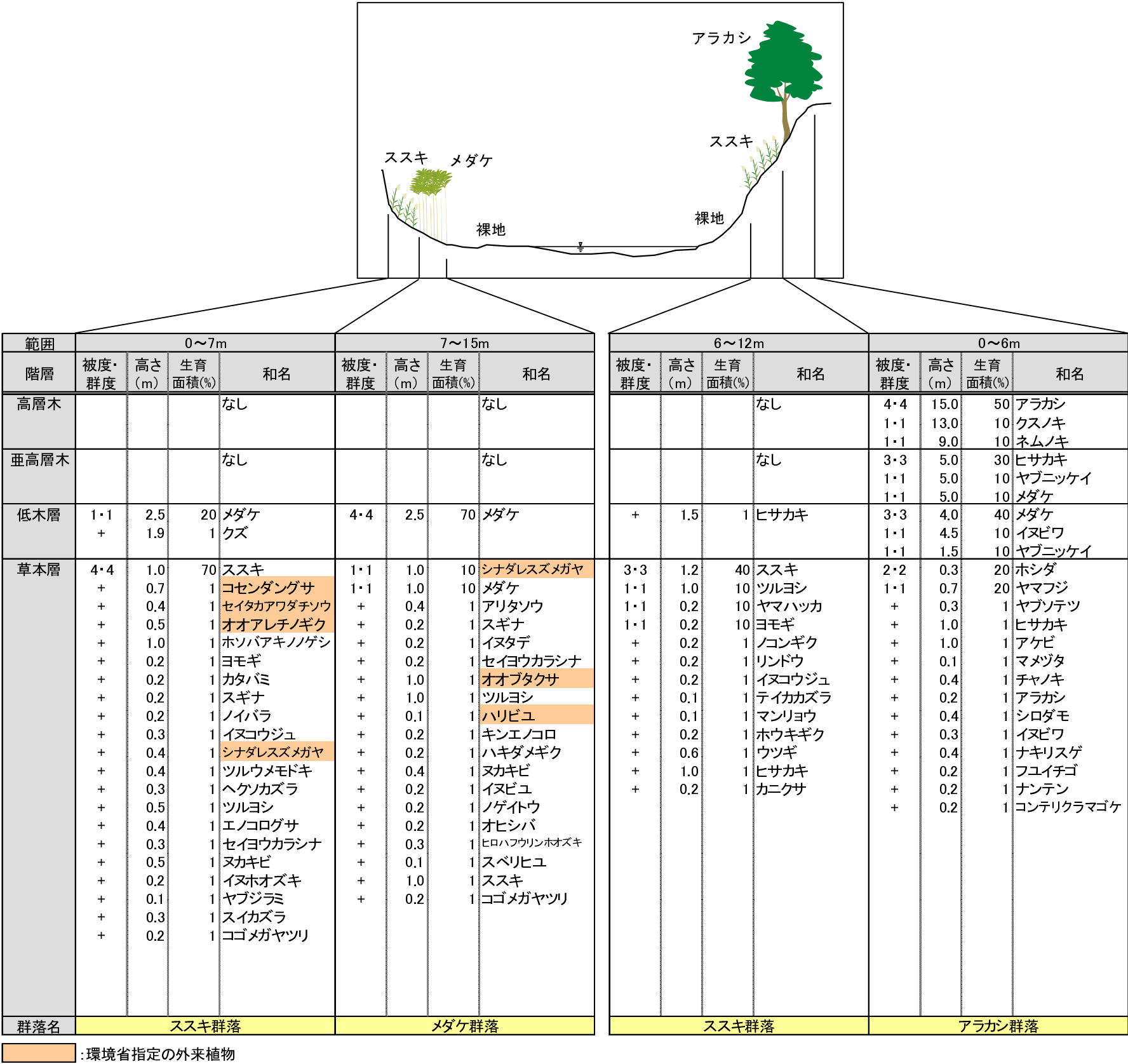
No.3 : 球磨川 23k000 付近



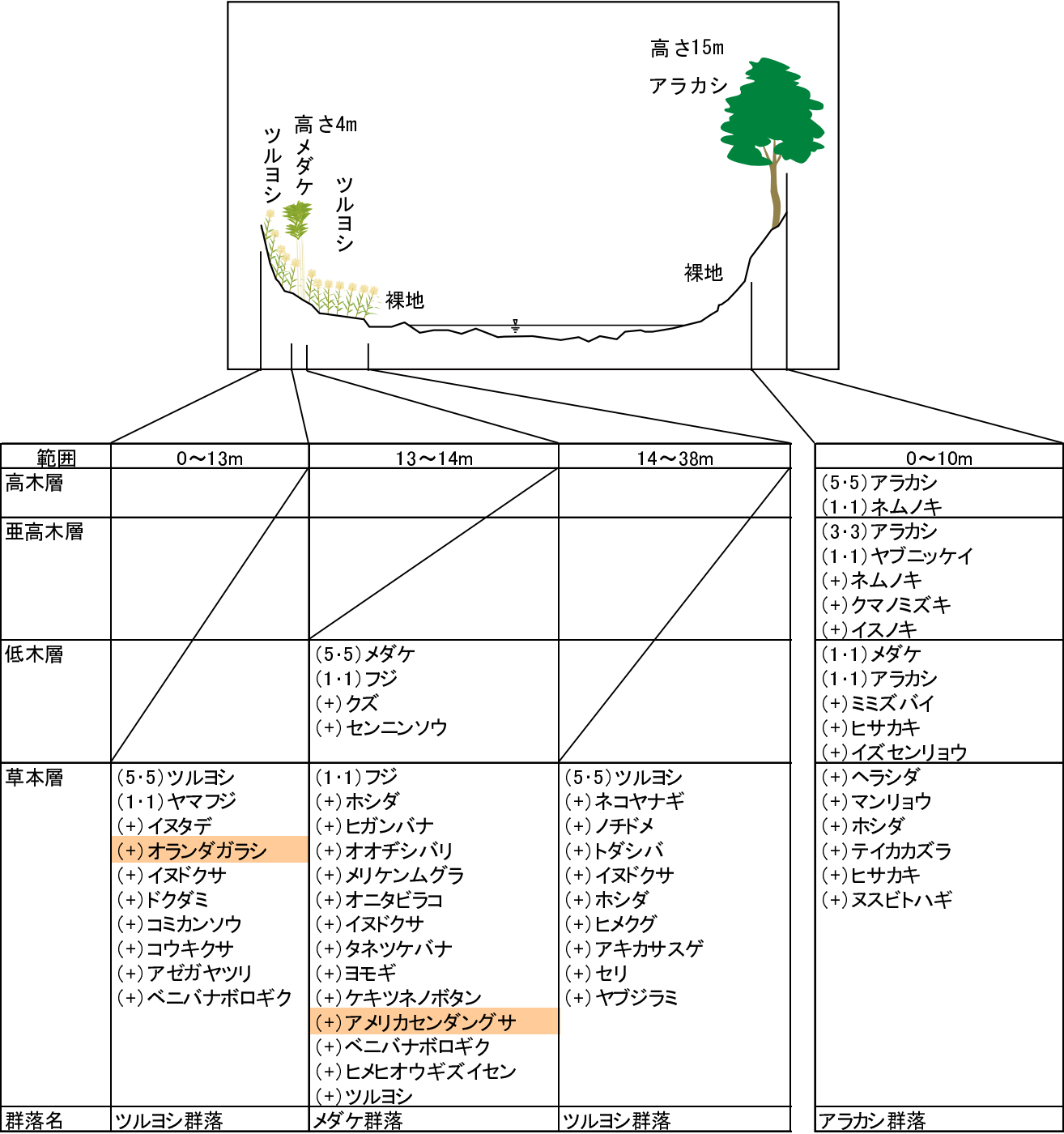
No.4 : 球磨川 25k100 付近



No.4 : 球磨川 25k100 付近



No.5 : 球磨川 27k400 付近



No.5 : 球磨川 27k400 付近